

授業科目名 科目コード	企業経営研究 (Business Management) 392097-14-300					担当教員	栗井 英大 (クリイ ヒデヒロ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	2 年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要

企業の主目的は、重要な経営資源である「人、モノ、金、情報」を組合せ、事業活動を通じて利益を生み出すことである。そこで、「ビジネスモデル」すなわち、企業が利益を生み出すための事業活動の仕組みを知り、企業経営をより深く理解することで、企業人としての感覚を磨くことを目指す。

また、「企業は人なり」と言われるように、「人」をどのように育成・活用するかが、企業経営の成否の分岐点と言っても過言ではない。そこで、優良企業の事例等を学ぶことによって、企業経営、経営者の思考、働き方などへの理解を深める。これにより、企業に所属し、企業の一員として働くとはどういうことかを理解し、就職先から必要不可欠な「自律的な人財」と評価されるべく、勤労マインドを醸成する授業を実施する。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

2 職業人として通用する能力／3 専門的知識・技能を活用する能力を養う。

③ 授業の進め方・指示事項

講義は、パワーポイントを活用し講義を行い、書き込み式の配付資料の空欄を学生自ら埋めていく方法で進める。また、講義冒頭では、記憶の再生、定着を促すために、前回講義の復習を行う。

正当な理由のない遅刻・途中退席は認めない。

日々の社会的な出来事も積極的に取り上げるほか、学生の意見を取り入れつつ、講義を進める。そのため、授業内容が変更となる場合がある。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

「経営学」

⑤ テキスト（教科書）

テキスト指定なし。授業開始時にレジュメを配布する。

⑥ 参考図書・指定図書

稲盛和夫（2009）『働き方』三笠書房

平野敦史カール（2019）『知識ゼロでも今すぐ使える！ビジネスモデル見るだけノート』宝島社

その他、テーマに関連した参考文献や関連情報を必要に応じ紹介する。

⑦ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 企業の「ビジネスモデル」を理解・説明することができる。 (ii) 「働く」ことを理解・説明することができる。 (iii)

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 「ビジネスモデル」の理解・説明	ビジネスモデルに関して、資料等に頼らず説明でき、授業内容を超えた学修成果を示している	ビジネスモデルに関して、資料等に頼らず説明できる	ビジネスモデルに関して、資料等を見ながら説明できる	ビジネスモデルに関して、資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	ビジネスモデルに関して、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
(ii) 「働く」ことの理解・説明	「働く」ことに関して、資料等に頼らず説明でき、授業内容を超えた学修成果を示している	「働く」ことに関して、資料等に頼らず説明できる	「働く」ことに関して、資料等を見ながら説明できる	「働く」ことに関して、資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	「働く」ことに関して、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
(iii)					

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	60%			30%		10%		100%
(i) 「ビジネスモデル」の理解・説明	40%			20%		7%		67%
(ii) 「働く」ことの理解・説明	20%			10%		3%		33%
(iii)								
フィードバックの方法	初回講義内で、成績評価の方法・基準、講義の進め方、試験の方法等について、具体的に説明するので、出席すること。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
学生の理解度・習熟度を確認し、具体例をまじえつつ講義を進めていく

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	講義ガイダンス ビジネスモデルとは？	講義の復習、ビジネスモデルとは？ 大量生産システム	120 分
2	大量生産システム	講義の復習 総合スーパーモデル	120 分
3	総合スーパーモデル	講義の復習 消耗品モデル	120 分
4	消耗品モデル	講義の復習 S P A	120 分
5	S P A	講義の復習 マッチングモデル	120 分
6	マッチングモデル	講義の復習 ライセンスモデル、二次利用モデル	120 分
7	ライセンスモデル 二次利用モデル	講義の復習 フリー戦略、フリーミアム	120 分
8	フリー戦略 フリーミアム	講義の復習 広告モデル	120 分
9	広告モデル	講義の復習 サブスクリプション	120 分
10	サブスクリプション	講義の復習 ホンダと本田宗一郎	120 分
11	企業紹介①ホンダ	講義の復習 京セラと稲盛和夫	120 分
12	企業紹介②京セラ	講義の復習 京セラフィロソフィー	120 分
13	京セラフィロソフィー	講義の復習、 パナソニックと松下幸之助	120 分
14	企業紹介③パナソニック	講義の復習、新卒採用時のポイント、就職活動に向けて	120 分
15	新卒採用の現状 講義のまとめ	講義の復習 期末試験に向けた準備学習	120 分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL を採用する。 ・ 毎回講義中に課題・問題を出すことにより、インプット型の講義に加えて、学生の知識のアウトプットも重視し、知識の定着を目指す。 ・ 前回講義中に受け付けた質問・感想、及び宿題の内容について、講義中にフィードバックを行うことで、理解度を高めていく。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
平成 15（2003）年 3 月～平成 24（2012）年 6 月まで、(財)新潟経済社会リサーチセンターに在籍。研究員として、業界動向等の調査分析・レポート作成業務に従事した。
実務経験と授業科目との関連性
様々な業種のレポート作成に携わった経験を生かし、企業の雇用マネジメント・ビジネスモデルについて、優良企業を中心とした具体的な企業の事例紹介等を交えつつ、分かりやすく説明する。